

市記入用

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	知明湖キャンプ場
	所 在 地	川西市黒川字落合381番地
	設置目的	野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進と地域の振興に資する。
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	一般財団法人一庫ダム湖周辺環境整備センター
	所 在 地	川西市中央町12番1号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知明湖キャンプ場の設置目的を達成するための事業の実施に関する業務 2. 知明湖キャンプ場の使用許可、使用制限、使用許可の取消等に関する業務 3. 知明湖キャンプ場の使用料の徴収及び減免に関する業務 4. 知明湖キャンプ場の使用料の還付に関する業務 5. 知明湖キャンプ場の施設及び附属設備の維持管理に関する業務 6. その他知明湖キャンプ場の設置目的を達成するため市長が必要と認めた業務 	
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日	

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A
〔所見〕	
事業計画に基づき効果的な事業が実施されていた。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止せざるを得ない等活動範囲が狭まるなか、補助事業を活用し再生可能エネルギーの利用について検討することができた。	
〔改善項目〕	
キャンプブームで利用者が増加するなか、リピーターだけでなく新規利用者への魅力発信に努めるとともに、周辺施設等と協力しマイクロツーリズムを企画する等、設置目的に向けて更なる成果を挙げられることを期待する。	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	B
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	B
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B
〔所見〕	
新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた事業の多くが実施できず、参加者数の増を図ることができなかったが、開園期間は多くの人に利用いただくことができた。	
〔改善項目〕	
新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ参加者数を増加させるため、平日の利用促進への対応が必要である。	
(3) 利用者の満足度	A
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
〔所見〕	
リピーターが多いことから利用者の満足度は高いと評価できる。また利用者への迅速な苦情処理や施設の利便性の向上を図るためのサービス提供に努めている。	
〔改善項目〕	
引き続き、利用者のニーズの把握に努め、利用者満足度の向上を図る必要がある。また、利用者満足度の低下の要因となる施設の老朽化に対しては、市と協議の上、対応する必要がある。	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A
<p>[所見]</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う消毒清掃に係る費用や予約受付システムの改良業務費を指定管理者で補い、管理運営による継続的な経費削減が図れている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>アフターコロナを想定した各経費及び引き続き委託業者選定方法の見直しが必要。</p>	
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	C
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	C
<p>[所見]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、定員制限及び減免を行い、自主事業も中止となった結果、収入増を図ることができなかった。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>昨今のキャンプブームが追い風となっているため、アフターコロナを想定するとともに、平日利用の促進、利用料金の見直しが必要。</p>	
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	A
収支のバランスが適切であったか。	B
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A
<p>[所見]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による減免及び閉園に伴う利用者減少により、決算収支差額が前年度比で大きく差が出ている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>物販の拡充及び減免規定、利用料金の見直しが必要。 令和3年10月から施行開始するキャンセル料の徴収によって、利用率が向上することを期待している。</p>	

評価項目及び評価のポイント		評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み〔適正性〕		A
(1) 管理運営の実施状況		A
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。		A
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A
施設の維持管理が適切に行われたか。		A
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。		A
〔所見〕 利用者に応じた人員配置が行われている。また、接遇や安全講習を行うなど職員の資質向上が図れている。施設管理においては定期的な清掃・草刈等を行い、また、予約受付システムの見直しを行うことにより、利用者の満足度を高めることに努めている。		
〔改善項目〕 施設の長寿命化に向け、今後とも市と協議・調整を行いながら、適正な施設の維持管理に努めること。		
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。		A
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。		A
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。		A
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。		A
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。		A
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。		A
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。		A
〔所見〕 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、利用者や情報を共有し、消毒清掃・検温に努めている。様々なメディアを活用した広報活動が図れている。また、利用者の個人情報管理や安全対策として気象情報や火気の取扱い等について注意喚起するとともに、怪我等の対応として近隣病院との連携がされており、利用者にとって適切な対応が図れている。		
〔改善項目〕 管理運営や利用者に対して安全対策のため、危機管理マニュアルに基づき、引き続き定期的に避難訓練を実施する必要がある。		
総 合 評 価		
〔所見〕	評価ランク	A
専用HPの改良をはじめ、リピーターだけでなく新規利用者に向けた施設の広報に注力するとともに、適切な維持管理及び安全管理に努めている。リピーターが多く、継続して満足度が高いことは経営努力として評価できる。		
〔改善項目〕 魅力的な自主事業の実施はもとより、他の民間事業者との連携による集客事業の積極的な誘致など、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながらも利用者数及び使用料収入・物販の増加により一層努めるとともに、平日の利用促進に向けた事業の展開を検討されたい。		